

評価項目一覧

評価ステップ	評価指標	評価項目	評価の考え方	評価の条件	判断基準(案)	評価	配点	
① 必要性に関する評価 100	幹線機能の評価 30/100	① 上位計画等において必要性の高い路線か 40/100	上位計画等において、コンパクトネットワークの促進や域内交通体系の整備促進等のため、整備の優先度が高い路線や骨格的な路線として位置付けられているか。	上位計画(都市計画区域マスタープラン・宮崎市都市計画マスタープラン)における各路線の位置付けを確認	位置付けあり 位置付けなし —	○ × —	40 0 —	
		② 宮崎市の主要な拠点や幹線道路を連絡する路線か 20/100	上位計画等に位置づけられた都市拠点へのアクセス路線であるか。	都市計画区域マスタープラン及び都市計画マスタープランに設定されている主要拠点(区域マス:圏域拠点・地域生活拠点・工業拠点・流通業務拠点・観光拠点、都市マス:中核拠点・物流工業拠点・学術医療拠点・生活居住拠点(本庁管内以外)・工業団地等)同士を連絡する路線、又はそれら主要拠点と高速道路、幹線道路を連絡する路線	該当あり 該当なし —	○ × —	20 0 —	
		③ 主要な交通施設への主たるアクセス路線か 20/100	高規格道路、駅、空港、港、バスターミナルへのアクセス路線か。	下記の交通施設へ直接接続、接続してなくても延長線上の一部区間を構成している、または他の路線を経由し主要なアクセス道として機能しているか(該当数) ・IC(高速道路、地域高規格道路のIC及びランプ)・鉄道駅(宮崎市内のJR駅)・港(宮崎市内の港湾) ・宮崎空港 ・バスターミナル(宮崎駅バスターミナル、宮交シティ)	該当数2つ以上 該当数1つ 該当なし	○ △ ×	20 10 0	
		④ 主要な公共施設への主たるアクセス路線か 20/100	行政施設、文化施設、主要公園、病院等へのアクセス路線か。	下記の施設が概ね500m圏内に立地、かつ、アクセス性があるか確認(該当数) ・行政施設 ・文化施設 ・公園 ・主要な病院 など	対象路線平均以上 対象路線平均以下 該当なし	○ △ ×	20 10 0	
	交通機能の評価 30/100	⑤ 将来の交通需要から整備の必要性が高い路線か 40/100	交通需要の高い路線であるか。(自動車交通量4000台/日以上) ※基準とする交通量の値(4000台/日)については「道路構造令の解説と運用」J1-1-3道路の種類と種級区分等との関係を参照	将来自動車交通量を確認	将来交通量4000台以上 将来交通量4000台未満 —	○ × —	40 0 —	
		⑥ 混雑緩和に寄与する路線か 20/100	現道または並行する路線の主要渋滞箇所(区間)が改善(解消)するか	主要渋滞箇所(区間)が該当するまたは並行する路線か確認(該当数)	該当数2つ以上 該当数1つ 該当なし	○ △ ×	20 10 0	
		⑦ 代替する路線がない路線か 20/100	概成路線以外の未着手路線のうち、計画路線を代替する路線が存在するか	概ね500m以内に機能的に計画路線を代替する代替路線(少なくとも5.5m以上の幅員を有する)が存在するか確認	代替路線がない 代替路線がある —	○ × —	20 0 —	
		⑧ 自転車・歩行者交通の需要が多いと考えられる路線か 10/100	自転車・歩行者交通の必要性が高い、交通量の多い路線か。	・自転車ネットワーク計画に位置づけられている路線か確認 ・下記の施設が概ね500m圏内に立地しているか確認 ①学校:通学路としての利用が期待できる教育施設が立地又は通学路指定 ②旅客施設:鉄道駅やバスターミナルなど、主要な旅客施設が立地 ③その他:集客力のある施設	NW計画に該当かつ学校等が立地 NW計画に該当または学校等が立地 どちらも該当なし	○ △ ×	10 5 0	
		⑨ 公共交通の必要性の高い路線か 10/100	バス路線に該当又は、今後バス路線として予定される路線か	現況のバス路線に該当する路線、もしくは近傍の路線が該当するか確認	該当あり 該当なし	○ ×	10 0	
		市街地形成機能の評価 10/100	⑩ まちづくり支援の観点から整備の必要性が高い路線か 50/100	新規の施設立地や土地区画整理、中心市街地活性化など、市街地での土地利用の支援や事業効果を高める路線か	以下の施設の整備計画及び事業中箇所にアクセス又は計画を構成する路線か確認 ・市街地整備事業(土地区画整理、再開発) ・公共施設 ・複合商業施設計画 ・中心市街地地区(まちなか活性化推進計画)など	該当あり 該当なし —	○ × —	50 0 —
	⑪ 分断地域をつなぐなど地域活性化等に寄与する路線か 50/100		人口集中地区において、鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地域をつなぐ路線となっているか	DID地区内における、鉄道や河川等との位置関係を確認	2つ以上該当 1つ該当 該当なし	○ △ ×	50 25 0	
	防災機能の評価 20/100	⑫ 市街地の防災性向上の観点から整備の必要性が高い路線か(避難路・延焼遮断帯、若しくは消防活動空間としての機能向上が期待される路線) 50/100	計画幅員15m以上の路線か	各路線の計画幅員を確認	計画幅員が15m以上 計画幅員が15m未満 —	○ × —	50 0 —	
		⑬ 風水害、地震災害、津波災害、その他災害時において重要な路線か 50/100	災害時において指定緊急避難場所等へのアクセスや物資輸送に資する路線であるか	・指定緊急避難場所、災害拠点病院が概ね500m圏内に立地しているか確認 ・津波浸水想定区域に該当、又は近接する路線か確認	両方該当 片方該当 該当なし	○ △ ×	50 25 0	
	空間機能の評価 10/100	⑭ 海や山、景観資源等への眺望確保や、都市の緑空間創出等、景観形成に寄与するか 50/100	道路整備により景観資源等への眺望確保や、緑の空間創出等、都市景観の改善や創出に寄与する路線か	・宮崎市景観計画(景観拠点や重点地区等)、国指定史跡、風致地区及び緑の基本計画における花と緑のみちづくりへの位置付けの有無を確認	位置付けあり 位置付けなし —	○ × —	50 0 —	
		⑮ 市街地における住環境の改善等、都市環境の向上に寄与するか 50/100	専用住居系の用途地域であるなど、都市環境の向上に有効な路線か	専用住居系の用途地域を通過する路線かを確認	該当あり 該当なし —	○ × —	50 0 —	
	② 実現性に関する評価 100	構造上の制約・経済性に関する評価 60/100	⑯ 物理的・地形的制約がないか 30/100	物理的・地形的制約条件があるか(鉄道・河川との交差、高低差、支障物件など)	物理的・地形的制約条件があるか(鉄道・河川との交差や雨水幹線等整備の必要性)を確認(該当数)	該当なし 1つが該当 2つ以上該当	○ △ ×	30 15 0
			⑰ 交通安全上、施工上の課題がないか 20/100	交通安全上、施工上の課題があるか(交差点の形状や位置、立体交差の接続位置、交通量の大幅増加による交通安全環境の悪化など)	該当箇所があるかを確認	該当なし 1つ該当 2つ以上該当	○ △ ×	20 10 0
			⑱ 計画幅員変更の必要性がないか 20/100	実施の際に計画幅員の変更(拡幅)が必要で事業費の増加が見込まれるか	・現況の道路構造令に適合させるために、計画幅員変更が必要となる可能性が高い12m未満の計画幅員かを確認	計画幅員12m以上 計画幅員12m未満	○ ×	20 0
			⑲ 補償物件の影響がないか 30/100	沿線に住居などが存在し、移転補償等が必要となり、事業費の増加が見込まれるか	・計画区域内に補償すべき建築物があるか確認(該当数)	0件 1件以上 対象路線平均以上	○ △ ×	30 15 0
		現況の土地利用に関する評価 10/100	⑳ 移転困難な施設が存在しないか 100/100	計画区域内に移転困難な公共施設等があるか	計画区域内に以下の施設があるか確認 国の機関・地方公共団体・厚生機関・警察機関・消防署・学校・病院・福祉施設	該当なし 該当あり —	○ × —	100 0 —
			周辺環境への影響 20/100	㉑ 歴史・文化財・景観・自然環境への影響がないか 50/100	歴史・文化財(埋蔵文化財、指定文化財)が存在するか 景観資源等が存在するか 保全すべき自然環境または、動植物の生息環境が存在するか	・計画区域又は沿線に歴史・文化財や景観資源があるか確認(該当数) ・計画区域内に街路樹や郷土の名木等があるか確認 ・計画区域内に保全すべき自然環境があるか確認	該当なし 1つ該当 2つ以上該当	○ △ ×
		㉒ 地域を分断するなど街なみや地域コミュニティへの影響がないか 50/100		計画路線がDID地区を通過するか	DID地区のエリア及び計画幅員(車線数)を確認	DID地区外 DID地区内で2車線以下 DID地区内で4車線以上	○ △ ×	40 20 0
		地域の要望に関する評価 10/100	㉓ 地元要望があるか 100/100	自治会等からの要望書などにより早期整備の要望があるか	要望等があるか確認	地元要望あり 地元要望なし —	○ × —	100 0 —